

評価領域	特色ある教育課程
------	----------

重点目標	「地域と共に育ち、地域に貢献する学校づくりの推進」
------	---------------------------



現 状	<ul style="list-style-type: none"> ・恵まれた自然環境や地域の優れた人材（アップルサポーター）を活用した本物の体験や交流及び共同学習をはじめとする地域学習を積極的に展開している。 ・全校及び学部単位で商店街等の花いっぱい運動や清掃活動、育てたりんごの加工・販売活動、リンゴレンジャー公演による交通事故やいじめ防止を呼び掛ける地域貢献活動に取り組んでいる。 ・小規模校の強みを生かした全校縦割り活動として、りんご栽培、全校体力づくり、全校清掃（ピカピカタイム）を行っている。 ・障がい児入所施設東山学園生が3割程度在籍している。発達障害を併せ有したり、家庭・養育環境に課題を抱えたりする児童生徒が在籍しているため、関係機関との連携が不可欠である。
-----	---



具体的な目標	<ol style="list-style-type: none"> 1 感染症の拡大防止対策や安全教育を行いながら、地域学習を年間指導計画の中心に据え、校外での学びを深めることにより、実際の場で発揮できる「本物の力」を育む。 2 児童生徒の思いと地域のニーズを重ね合わせた地域貢献活動や協働活動を展開し、自己肯定感や社会的存在価値を高める。
--------	---



目標達成のための方策	<ol style="list-style-type: none"> 1 地域学習を系統的・発展的に計画するとともに、豊かな地域資源（自然・人・もの・文化等）を有効に活用する。 2 児童生徒が地域に出掛けたり、交流及び共同学習等でアンケートを取ったりして、地域のニーズを把握し活動内容に盛り込む。
------------	--



具体的な取組状況	<ol style="list-style-type: none"> 1 積極的にアップルサポーターを授業で活用し、りんご栽培、読み聞かせ、ダンス教室等、プロの技に触れた。 2 -①学校間では相互に交流のねらいが達成できるよう、事前に障害理解授業を実施した。 2 -②小学部は校内での清掃活動を生かして、近くの自治会館内の掃除を行った。中学部は校内実習の一環として鹿角市総合運動公園の除草作業や落ち葉集め作業を計実施した。高等部は鹿角警察署や鹿角市教育委員会から依頼を受け、鹿角市長と一緒に朝の声掛け運動に参加したり、保育園や小学校を訪問してリンゴレンジャー公演を通じて交通事故やいじめ防止の啓発活動に取り組んだりした。また、高等部では、商店街やNEXCO東日本と協働で花いっぱい運動を実施した。
----------	---

P

D

達成状況	<p>1-①アップルサポーターを年間15回程度、授業で活用できた。</p> <p>1-②交流及び共同学習は年間37回実施した。今年度は花輪ばやしへ花輪中学校と合同で参加できた。また、花輪中学校とは学校間交流及び居住地校交流も行い、継続的に充実した交流及び共同学習が実施できた。高校とは両校を会場に1校2回、対等な関係で交流及び共同学習を行い、相互のねらいを達成できた。</p> <p>2 清掃活動、除草作業等の奉仕活動を期待するという地域の声を基に、学部単位で地域の清掃活動や花いっぱい運動に取り組んだ。学部が進むにつれて、地域の方々と協働した活動へと発展させた。</p>	D
------	--	---



自己評価	<p>(評価) A</p> <p>(根拠)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・児童生徒はアップルサポーターの本物の技に触れ、教科書からは得られない本物の感動を味わい、生き生きと活動する姿が見られた。サポーターからは「子どもたちと触れ合うことを毎年楽しみにしている」という多くの感想から、障害理解が進んでいると捉えている。 ・花いっぱい運動では、これまでの花をとおした地域づくりが認められ秋田県花いっぱい運動の会より「花のまちづくり賞」を受賞した。リンゴレンジャー公演等の地域貢献活動が地域に認知され、大変好評を得ており、今年度で地区内のすべての小学校での公演が達成できた。 	C
------	---	---



学校関係者評価と意見	<p>(評価) A</p> <p>(意見)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・感染症や熊の対策をしながら、積極的に地域と連携したり、交流及び共同活動を行ったりしている。 ・子どもの思いや願いが授業の中に具現化されている。 ・地域ネットワークの中に積極的に入り込むことが大切である。 ・進路実現に向けて、関係機関との一層の連携をお願いしたい。 ・地域貢献活動や双方向の交流及び共同学習をとおして、地域に開かれた学校づくりや交流活動の一層充実してほしい。 	C
------------	---	---



自己評価及び学校関係者評価に基づいた改善策	<ul style="list-style-type: none"> ・安全教育、感染対策を継続し、特色ある教育活動を一層充実させる。 ・児童生徒一人一人のねらいと学習活動の意義をより明確に提示する。 ・卒業後の生活がより豊かになるよう、在学中から保護者や関係機関との連携を強化し、希望する進路の実現と生涯学習の充実を図る。 ・児童生徒の強みや思いと地域のニーズとを重ね合わせた地域貢献活動を推進するとともに、地域との協働活動を一層推進する。 ・地域活動やホームページ等がかづの校の特色や魅力を地域に発信し障害理解を推進することで、地域における共生社会の実現を目指す。 	A
-----------------------	---	---